



市民病院

ハナちゃん通信

問合せ
市民病院管理課
☎(48)5050

小学生病院体験ツアーを開催します

医師や看護師、薬剤師、臨床検査技師、診療放射線技師、理学療法士、臨床工学士、栄養士、歯科衛生士など、さまざまな職種の仕事を体験できるように準備しています。

地域の皆さんが病院に愛着を持ってもらえるように、また、未来の医療従事者を夢見てもらえるように、たくさんの楽しい企画を用意して待っています。

とき 7月29日(金) 10時40分～17時10分

ところ 市民病院

対象 碧南、西尾、安城、高浜市内に在学する小学5・6年生と保護者

※昨年参加した小学生は参加できません。

定員 12組程度

※申込み多数の場合は抽せんです。

申込み 7月7日(木)までに往復はがきに氏名、性別(親子とも)、学校名、学年、住所、電話番号を記入し市民病院管理課(〒447-8502 平和町3-6)



碧南の歴史へのいざない

No.26 人物小伝

くにまつじゅうべえ

国松十兵衛

碧南市の鋳物業は、延宝4年(1676年)に、近江国栗太郡辻村(現滋賀県栗東市)から国松十兵衛・七郎兵衛親子が大浜村の松江(現松江町)にやってきたことから始まります。

初代「家次(重政)」から八代「忠平」が国松十兵衛を名乗り、市内外の寺社の梵鐘・喚鐘などを数多く鋳造しました。

しかし、戦時中の供出によりそのいくつかが無くなってしまい、現在碧南市の寺社に残っているものは、喚鐘5口、鉄湯釜が3口となり、市外にも梵鐘2口、喚鐘2口、鰐口1口のみとなっています。

詳しくは次の文献をご覧ください。

- ・「御鋳物師 国松十兵衛」(昭和51年 市鋳物工業協同組合)
- ・「碧南鋳物の祖 国松十兵衛」(平成24年度 文化財展資料)

問合せ 文化財課内市史資料調査室 ☎(41)4566

七代「光圀」のときの文政12年(1829年)ごろに最盛期を迎えた国松十兵衛家ですが、わずか6年後の天保6年(1835年)のころになると家業はかなり衰退し、安政3年(1856年)には鋳物業を休職するまでになってしまいました。急激な家業衰退と絶家のため、現在ではその名を知る人は少ないようです。



△六代目作 用心喚鐘(松江區蔵)



△七代目作 喚鐘(光正寺蔵)